

教科シラバス(2年理科)

教科名	理科	科目名	化学	学年	2年(理系習熟)	単位数	2
教科書と副教材			高等学校化学、エクセル化学、化学の実験				
1. 科目目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、資料集、問題集、ノート、実験書(観察実験授業)</p> <p>(2) 予習の仕方について ア 前もって、次回授業の教科書を読み、意欲をもって授業に臨めるようにしましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について イ 授業は集中し、先生の演示実験や説明をよく見聞きし、基本的な事柄を中心に深く理解できるように心掛けましょう。 ウ 観察実験では、先生の指示に従って安全に注意し、目的意識を持って行い、変化の様子を注意深く観察し記録しましょう。また、予想・実験・考察を丁寧に行い、化学的に筋道を立てて結論を導く力を養いましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について ア 授業で習った箇所の教科書を読み返し、法則や重要事項等をもう一度ノートに書き写しましょう。また、分からないことを残さないように心掛けましょう。 イ 宿題(問題集)は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをしておくようにしよう。</p> <p>(5) 質問の仕方について 分からないことは早めに担当の先生に尋ねましょう。授業時間内の質問でも、放課後等に質問に行ってもいいです。分からないことをそのままにしないようにしてください。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査、提出された課題や実験書、学習態度等より行います。特に、課題や実験書の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。						
4. 学習サポート	<p>(1) 化学基礎に比べ、化学は理論的にも深い内容になりますが、授業の内容を身の周りの現象に結びつけて興味を持って取り組むことが最も大切です。</p> <p>(2) 授業ノートには、黒板に書かれたことだけでなく、先生が説明された事柄や実験での物質の変化の様子などの観察したことも書き込むとより理解が深まります。</p> <p>(3) 毎日の授業後、家庭でノートを見直し、問題集の基本問題を解いておくとうい良いでしょう。</p>						